

情報科学科

◎情報科学部情報科学科ディプロマ・ポリシー

学士（情報科学）には、教育のモットーである「創造と人間性」を発揮する幅広い教養と、情報科学の技術者あるいはメディア・クリエイター、指導者として長年に渡って産業と社会の発展に貢献できるように、情報科学の基礎知識と実践的技術、さらには豊かな人間性も兼ね備えることを求める。

1. 総合教育科目の多面的履修を通じて、基礎学力を養い豊かな人間性と専門分野を超えて問題を探求する姿勢を身につけること。
2. 専門教育科目の履修を通じて、コンピュータシステム専攻においては、コンピュータシステムについての知識と技術を修得し、コンピュータシステムの開発において実践的な能力を発揮することができること。
3. 専門教育科目の履修を通じて、メディア情報専攻においては、種々のメディアを用いたコンテンツの開発手法についての知識と技能を修得し、コンテンツの開発において実践的な能力を発揮することができること。

◎情報科学部情報科学科カリキュラム・ポリシー

情報倫理を身につけ、広く産業および社会に貢献できる人材を養成するため、情報科学技術の基礎を修得させ、その発展としてコンピュータシステムや情報コンテンツの開発能力を養う教育課程を配する。

情報技術者を養成するために、様々なコンピュータシステムの開発能力の育成を目的とした教育課程（コンピュータシステム専攻）と、メディア・クリエイターを養成するために、様々な情報コンテンツの開発能力の育成を目的とした教育課程（メディア情報専攻）を配する。

1. 教育課程は総合教育科目、専門教育科目で構成する。
2. 2つの専攻の共通基礎として、情報科学の基礎、プログラミング、コンピュータ、情報ネットワークを学び、その発展として、コンピュータシステム専攻では組込みシステムや業務システムなどのコンピュータシステム、メディア情報専攻では情報コンテンツの開発能力を養成する。
3. 理論と実践の両面を考慮した教育課程を配し、基礎的概念・知識・方法論と実践的能力を養成する。
4. 演習重視の教育課程を配し、TAなどを活用するきめ細かな指導により、学生の意欲を引き出すとともに実践的能力を養成する。
5. 実社会や地域の産業との関係を視野に入れることのできる人間力を養成する。
6. 理解度・習熟度、応用力、問題発見・設定・解決能力、システム・コンテンツ開発能力などを試験や課題に対する成果などで評価する。

●●●●● 情報科学科教育課程表 ●●●●●

授 業 科 目	単 位 数	必選の別	
		KK 専 攻	KX 専 攻
情報社会及び情報倫理	2	必	必
キャリアデザインⅠ	2	必	必
キャリア意識形成	2	必	必
キャリアデザインⅡ	2	選	選
経済基礎知識	2	選	選
知的財産権	2	選	選
情報と職業	2	選	選
インターンシップ	2	選	選
データサイエンス基礎数理	2	必	必
微分積分Ⅰ	2	選	選
微分積分Ⅱ	2	選	
線形代数Ⅰ	2	選	選
線形代数Ⅱ	2	選	
確率統計	2	選	選
幾何学	2	選	☆
物理学（力学）	2	必	選
物理学（電磁気学）	2	選	☆
物理実験	2	必	☆
情報数学Ⅰ	2	必	☆
情報数学Ⅱ	2	選	☆
コンピュータ概論	2	選	選
人工知能	2	選	選
オペレーティングシステム	2	選	選
データベース	2		選
データベース及び演習	3	選必	
情報システム概論	2	選	選
CAD 及び演習Ⅰ	3	選	選
CAD 及び演習Ⅱ	2		選
CG プログラミング及び演習	3	選	必
コンピュータリテラシ	2	必	必
プログラミング及び演習Ⅰ	3	必	必
プログラミング及び演習Ⅱ	3	選	選
アルゴリズムとデータ構造	2	選	選
アルゴリズムとデータ構造演習	1	選	
コンピュータネットワーク	2	必	選
モバイルネットワーク	2	選	選
ネットワーク及び演習	3	選必	選
情報セキュリティ	2	選	選
Web プログラミング及び演習	3	選必	必
論理回路	2	選	☆
数値計算	2	選	☆
オペレーションズ・リサーチⅠ	2	選	☆
オペレーションズ・リサーチⅡ	2	選	☆
数理論理学	2	選	
言語理論及びコンパイラ	2	選	☆
計算の理論	2	選	☆
並列分散処理	2	選	☆
ソフトコンピューティング	2	選	☆
オブジェクト指向プログラミング及び演習Ⅰ	3	選	☆
オブジェクト指向プログラミング及び演習Ⅱ	3	選	☆
ソフトウェア工学Ⅰ	2	選	☆
ソフトウェア工学Ⅱ	2	選	☆
Web プログラミング基礎	2	選	
コンピュータアーキテクチャⅠ	2	選	☆
コンピュータアーキテクチャⅡ	2	選	☆
組み込みシステム概論	2	必	☆
組み込みプログラミング及び演習	3	選必	☆
マイコン制御及び演習	3	選必	☆

専門
教育
科目

授 業 科 目	単 位 数	必選の別	
		KK 専 攻	KX 専 攻
プロジェクト演習Ⅰ	1	選	
プロジェクト演習Ⅱ	1	選	
画像処理及び演習	3	選	必
デジタル映像処理及び演習	3	☆	選
応用プログラミング及び演習	3	☆	選
ゲームプログラミング	2	☆	選
マルチメディア情報処理及び演習Ⅰ	3		選
マルチメディア情報処理及び演習Ⅱ	3		選
CG コンテンツ基礎Ⅰ	3		必
CG コンテンツ基礎Ⅱ	3		選
CG コンテンツ応用	3		選
サウンドメディア論	2	☆	選
デッサンとモデリング	2		必
Web デザイン及び演習	3		必
映像制作概論	2	☆	選
映像制作及び演習	3	☆	選
カラーデザイン	2	☆	選
コミュニケーション論	2	☆	選
ユーザインタフェース	2	☆	選
ユーザビリティ	2	☆	選
メディア産業論	2	☆	選
メディア文化論	2	☆	選
経営学概論	2	☆	選
インターネットビジネス論	2	☆	選
メディア英語	1	☆	選
ベンチャービジネス論	2	☆	選
セミナー	2	必	必
特別講義Ⅰ	2	選	選
特別講義Ⅱ	2	選	選
卒業研究	4	必	選必
卒業制作	4		選必
高大連携特別講義A	2	選	選
高大連携特別講義B	2	選	選
高大連携特別講義C	1	選	選

☆印は専門教育科目（選択）の単位として認定される他専攻の科目

コンピュータシステム専攻 カリキュラムツリー

必修科目

選択必修科目

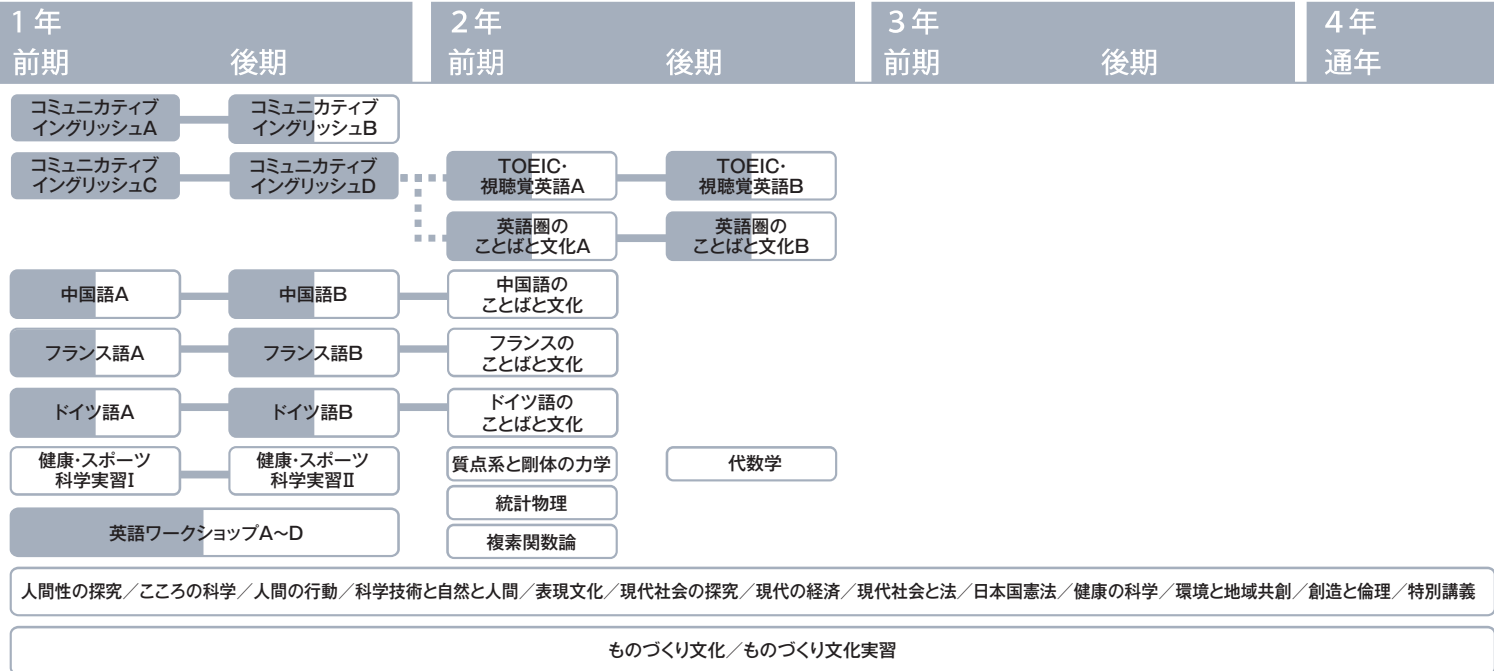
選択科目

—— 連結・前提科目
..... 連携・関連科目

学習到達目標

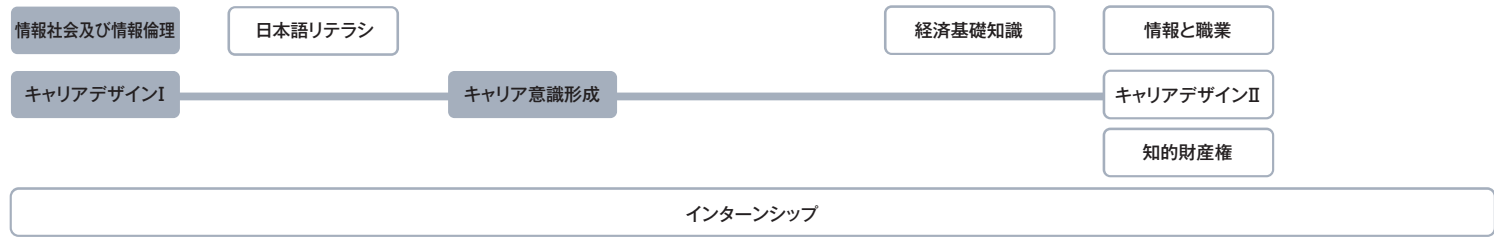
人間性を培う幅広い知識と素養の育成

人間・社会・言語に関する知識を深め、それらの知識(の関連づけ)と論理的な思考によって、日常のさまざまな現象を明らかにする力を養う。
言語およびコミュニケーション活動に関心をもち、正確な言語理解と適切な表現のできる国際人を目指す。
多様な領域の講義を通して、よき市民としての広い視野と素養を身につける。



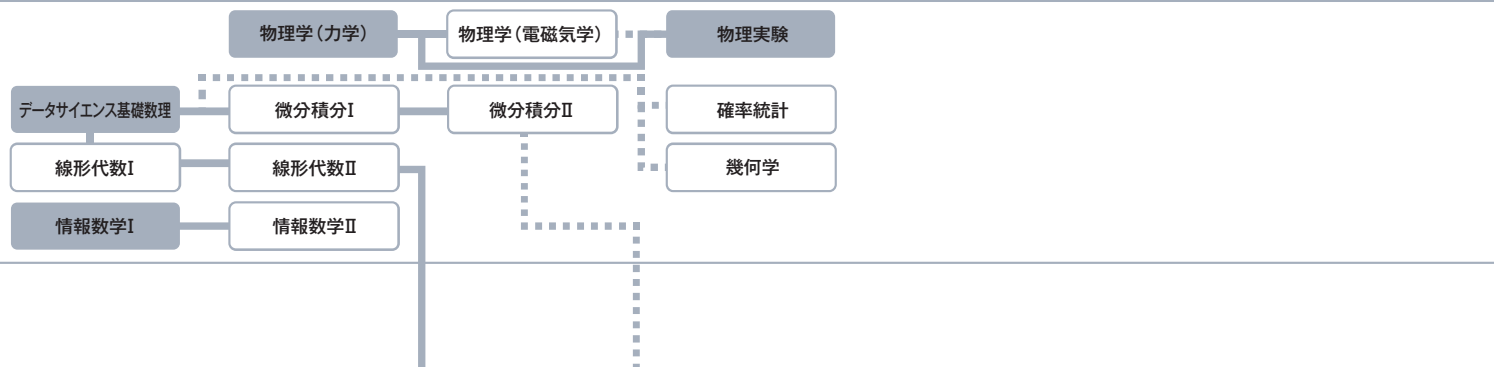
人間性の教育・専門性の教育の統合 (キャリア教育)

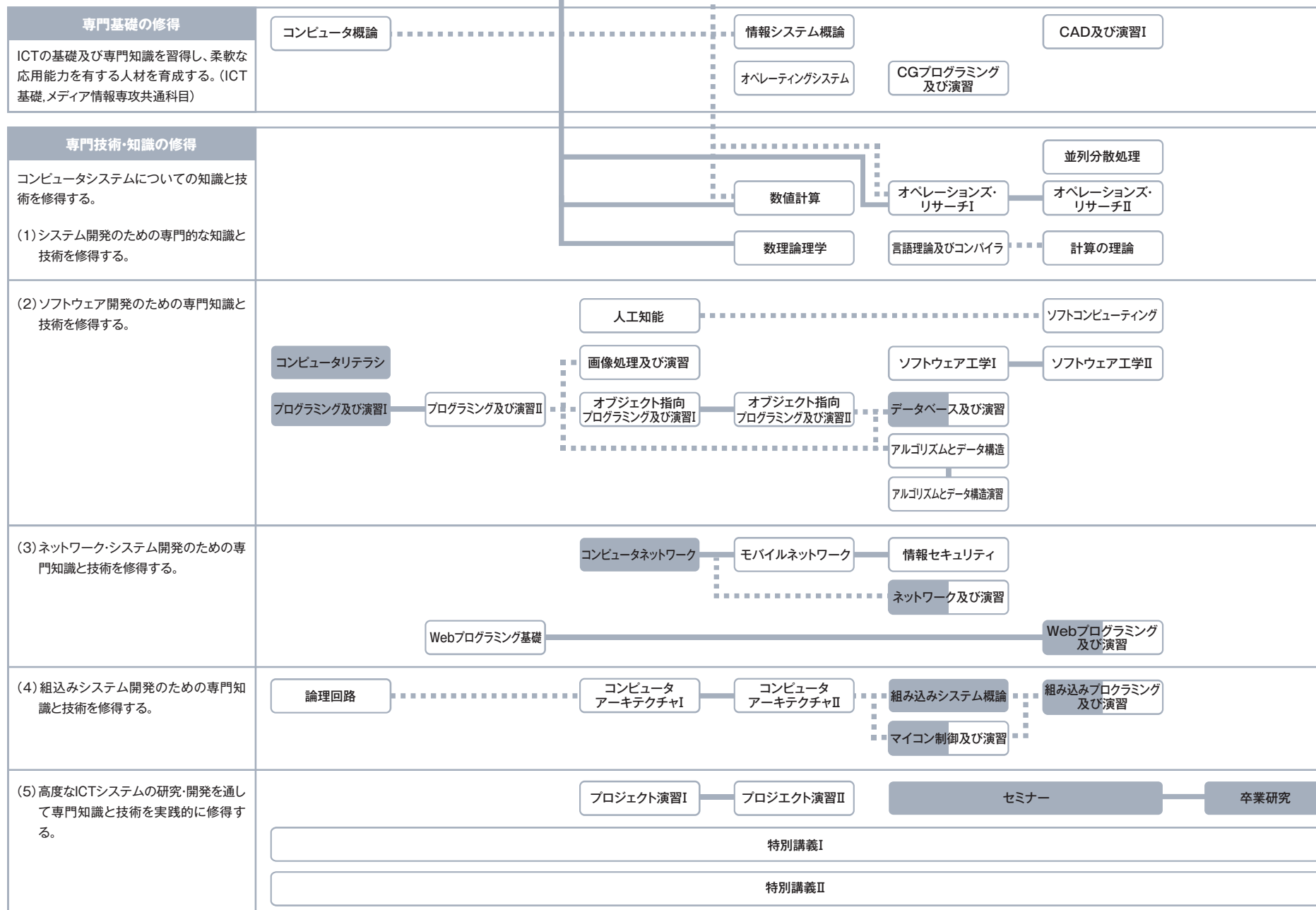
社会的・職業的に自立した学生を育成する。



基礎学力・知識の修得

・各専門分野を学ぶために必要な自然科学の知識を習得し、科学的な思考を身に付ける。
・情報科学分野に共通する基礎力と社会人として必要な人間的能力を養う。





●●●● コンピュータシステム専攻教育課程表 ●●●●

科目コード	授 業 科 目	単位数		毎週授業時間数（コマ数）								GPA算出対象	副専攻	備 考
		必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
専門 教育 科目	K1021 情報社会及び情報倫理	2		1								○		
	K1022 キャリアデザインⅠ	2		1								○		
	K1023 キャリア意識形成	2				1						○		
	K2113 キャリアデザインⅡ		2						1			○		
	K2114 経済基礎知識		2						1			○		
	K2115 知的財産権		2							1		○		
	K2116 情報と職業		2							1		○		
	K2117 インターンシップ		2	※ 1										
	K1020 データサイエンス基礎数理	2		1								○		
	K2058 微分積分Ⅰ		2	1								○		
	K2059 微分積分Ⅱ		2		1							○		
	K2060 線形代数Ⅰ		2	1								○		
	K2061 線形代数Ⅱ		2		1							○		
	K2062 確率統計		2				1					○		
	K2063 幾何学		2				1					○		
	K1019 物理学（力学）	2				1						○		
	K2087 物理学（電磁気学）		2				1					○		
	K1013 物理実験	2						2				○		
	K1005 情報数学Ⅰ	2			1							○		
	K2016 情報数学Ⅱ		2			1						○		
	K2094 コンピュータ概論		2		1							○		
	K2049 人工知能		2				1					○		
	K2090 オペレーティングシステム		2					1				○		
	K3005 データベース及び演習		3						2			○		※ 2
	K2071 情報システム概論		2					1				○		
	K2076 CAD及び演習Ⅰ		3							2		○		
	K2096 CGプログラミング及び演習		3							2		○		
	K1017 コンピュータリテラシ	2			1							○		
	K1003 プログラミング及び演習Ⅰ	3			2							○		
	K2022 プログラミング及び演習Ⅱ		3			2						○		
	K2088 アルゴリズムとデータ構造		2						1			○		
	K2089 アルゴリズムとデータ構造演習		1						1			○		
	K1007 コンピュータネットワーク	2					1					○		
	K2070 モバイルネットワーク		2					1				○		
	K3001 ネットワーク及び演習		3							2		○		※ 2
	K2091 情報セキュリティ		2						1			○		
	K3002 Webプログラミング及び演習		3								2	○		※ 2
	K2035 論理回路		2		1							○		
	K2044 数値計算		2					1				○		
	K2017 オペレーションズ・リサーチⅠ		2						1			○		
	K2018 オペレーションズ・リサーチⅡ		2							1		○		
	K2082 数理論理学		2					1				○		
	K2012 言語理論及びコンパイラ		2						1			○		
	K2014 計算の理論		2							1		○		
	K2072 並列分散処理		2							1		○		
K2077 ソフトコンピューティング		2							1		○			
K2065 オブジェクト指向プログラミング及び演習Ⅰ		3				2					○			
K2066 オブジェクト指向プログラミング及び演習Ⅱ		3					2				○			
K2095 ソフトウェア工学Ⅰ		2						1			○			
K2037 ソフトウェア工学Ⅱ		2							1		○			
K2083 Webプログラミング基礎		2			1						○			
K2068 コンピュータアーキテクチャⅠ		2				1					○			
K2069 コンピュータアーキテクチャⅡ		2					1				○			
K1015 組み込みシステム概論	2							1			○			
K3003 組み込みプログラミング及び演習		3							2		○		※ 2	
K3004 マイコン制御及び演習		3							2		○		※ 2	
K2084 プロジェクト演習Ⅰ			1			1					○		1年次のGPA＝2.5以上が履修条件	
K2085 プロジェクト演習Ⅱ			1				1				○		1年次のGPA＝2.5以上が履修条件	
K2097 画像処理及び演習			3			2					○			
K1016 セミナー	2							1						
K2053 特別講義Ⅰ			2	※ 1										年度によって開講しない場合がある
K2054 特別講義Ⅱ			2	※ 1										年度によって開講しない場合がある
K1018 卒業研究		4								※ 1				
K2079 高大連携特別講義A			2											卒業要件単位数にのみ加算
K2080 高大連携特別講義B			2											卒業要件単位数にのみ加算
K2081 高大連携特別講義C			1											卒業要件単位数にのみ加算

KK

コンピュータシステム専攻

	科目コード	授 業 科 目	単位数		毎週授業時間数（コマ数）								GPA算出対象	副専攻	備 考	
			必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次					
					前	後	前	後	前	後	前	後				
総合 教育 科目	G1829	コミュニケーション英語A	1		1									○		
	G1830	コミュニケーション英語C	1		1									○		
	G1831	コミュニケーション英語D	1			1								○		
	G3834	コミュニケーション英語B	1			1								○		
	G3832	TOEIC・視聴覚英語A	1				1							○		
	G3833	TOEIC・視聴覚英語B	1				1							○		
	G3835	英語ワークショップA:スピーキング&プレゼンテーション	1		1									○		
	G3836	英語ワークショップB:上級リーディング	1		1									○		
	G3837	英語ワークショップC:ビジネスコミュニケーション&TOEIC演習	1		1									○		
	G3838	英語ワークショップD:海外留学英語	1		1									○		
	G3845	英語圏のことばと文化A	2				1							○	○	
	G3846	英語圏のことばと文化B	2				1							○	○	
	G3843	中国語A	1		1									○		
	G3844	中国語B	1			1								○		
	G3841	フランス語A	1		1									○		
	G3842	フランス語B	1			1								○		
	G3839	ドイツ語A	1		1									○		
	G3840	ドイツ語B	1			1								○		
	G2834	複素関数論		2				1						○	○	
	G2835	代数学		2					1					○	○	
	G2836	統計物理		2				1						○	○	
	G2837	質点系と剛体の力学		2				1						○	○	
	G2036	人間性の探究		2										○	○	
	G2001	こころの科学		2										○	○	
	G2026	人間の行動		2										○	○	
	G2064	科学技術と自然と人間		2										○	○	
	G2065	表現文化		2										○	○	
	G2014	現代社会の探究		2										○		
	G2013	現代の経済		2										○	○	
	G2066	現代社会と法		2										○		
	G2048	日本国憲法		2										○		
	G2010	健康の科学		2										○	○	
	G2067	ものづくり文化		2										○	○	
	G2821	環境と地域共創		2										○	○	
	G2069	創造と倫理		2										○	○	
	G2841	日本語リテラシ		2		1								○		開講学期変更の可能性あり
G2822	ものづくり文化実習		1		1								○	○	開講学期変更の可能性あり	
G2008	健康・スポーツ科学実習Ⅰ		1		1								○	○		
G2009	健康・スポーツ科学実習Ⅱ		1			1							○	○		
G2838	中国のことばと文化		2				1						○	○		
G2839	フランスのことばと文化		2				1						○	○		
G2840	ドイツのことばと文化		2				1						○	○		
G2070	特別講義		2												年度によって開講しない場合がある	
G2823	日本語コミュニケーション		2												卒業・進級要件単位には含めない	
G2824	海外研修英語		1							※ 1			○			
G2833	海外留学英語		4										○			

- 履修期は基本的な開講学年学期とし変更する場合がある。
- ※ 1 印の授業科目は毎週の授業時間数を定めない。
- 副専攻の詳細は126ページ。
- ※ 2 印の授業科目を複数修得した場合、必修科目として1科目が加算され、それ以降は専門選択科目に加算されます。

KK

コンピュータシステム専攻

■ 注意

1. 卒業および進級要件に含めない科目

- ・ 高大連携特別講義は進級判定時の単位数には含めず、卒業要件単位数にのみ加算します。
- ・ 日本語コミュニケーションで修得した単位は、卒業・進級要件に含めません。

2. 履修上の注意

(1) コンピュータシステム専攻では、ソフトウェアの開発技術を中心に、コンピュータ技術を総合的に学びます。以下の事項に注意して、多くの科目を積極的に履修して下さい。

- 1) 各科目は、科目系統図にあるように、互いに密接に関連しています。高学年で開講される科目を理解するためには、その前提となる科目を低学年で履修して修得しておく必要があります。カリキュラムツリーを十分に理解して、各学年に割り当てられた科目を大切に履修して下さい。
- 2) 1年次のキャリアデザインIは、大学生活を充実したものにするために、また、将来社会で活躍するために、これから大学で何を学ぶべきか、何をすべきかを考えるための授業です。この授業に積極的に参加して皆さんの一人一人の将来計画を作成し、その夢に向かって毎日の大学生活を有意義に送って下さい。
- 3) 卒業するためには、必修科目の全てと選択必修科目の幾つかを必ず修得する必要があります。これらの科目が不合格になると再履修する必要がありますが、在籍学年の科目と再履修科目の開講時間が重なることがあり、再履修は通常容易ではありません。必修科目、選択必修科目は割り当てられた学年で必ず合格するようにしましょう。また、履修科目をしっかり身につけるため、GPAは2.0以上を目指しましょう。
- 4) 演習科目は皆さんの将来の仕事と直接関係しており、仕事をするための実践力を養います。どの演習も宿題が多くて大変ですが、頑張ればその分力がつきます。演習科目はできるだけ多く、かつ、積極的に履修して下さい。なお一部の演習科目には履修条件があるので注意して下さい。
- 5) コンピュータシステム専攻の科目の中には数学、物理の科目が多数あります。これらの科目はコンピュータやソフトウェアの科目を理解するために必要であり、また、就職後10~20年して皆さんがリーダー、管理者として活躍するためにも必要です。高校生のときに数学、物理を学ばなかった人も大学で是非学んで下さい。
- 6) 卒業研究は大学教育の総仕上げです。教わるのではなく、自分で勉強して自分で問題を解決する力を養います。3年次のセミナーで準備を行い、4年次で本格的に取り組めます。卒業研究をうまく行えるように、3年次後期までに各科目をしっかり修得しておきましょう。
- 7) 選択必修科目(※2印の授業科目)から、必修科目として1科目(3単位)を選択して修得する必要があります。また選択必修科目を2科目以上修得した場合、2科目目からは選択科目に加算されます。

(2) 総合教育科目の履修については「総合教育科目履修の注意」を参照して下さい。

3. 他専攻・他学科・他学部・他大学履修の注意

自らの専門分野を超え、幅広く柔軟な視野と知識を修得するために、自分の専攻にない他専攻・他学科・他学部・他大学の科目を履修することができます。

なお、安易な履修申告など、この目的に合わない判断した場合は、履修を認めない場合があります。

また、他専攻・他学科・他学部・他大学の科目を修得した場合は、卒業および進級に必要な単位として以下の表のとおり認定されます。

履 修 科 目		卒業・進級に必要な単位 として認定される科目区分	卒業・進級に必要な単位 として認定される上限
所属学科 他専攻 開設科目	専門教育科目	専門教育科目(選択)の単位として認定	40単位まで
他学科 他学部 開設科目	専門教育科目	専門教育科目(選択)の単位として認定	16単位まで (うち他大学開設科目は 6単位まで)
単位互換制度による 他大学開設科目		科目区分は履修申告後、 審査して決定されます。 専門教育科目(選択)の単位として認定 総合教育科目(選択)の単位として認定	4単位まで

■ 卒業進級要件

1. 上級年次への進級要件

以下の表に定める単位を修得したものは、上級年次へ進級することができます。

1年次から2年次

	専門教育科目	総合教育科目	計
必修科目	35単位以上		35単位以上
選択科目			

2年次から3年次

	専門教育科目	総合教育科目	計
必修科目	70単位以上		70単位以上
選択科目			

3年次から4年次

	専門教育科目	総合教育科目	計
必修科目	105単位以上		105単位以上
選択科目			

2. 卒業要件

以下の表に定める単位を修得したものは、卒業することができます。

	専門教育科目	総合教育科目	計
必修科目	32単位	8単位※	40単位
選択科目	68単位以上	16単位以上	84単位以上
計	100単位以上	24単位以上	124単位以上

※必修科目3単位と選択必修科目5単位の合計とする。ただし、このうち英語系科目を6単位以上修得していること。

選択必修科目（※2印の授業科目）から、必修科目として1科目（3単位）を選択して修得する必要があります。
また選択必修科目を2科目以上修得した場合、2科目目からは選択科目に加算されます。



メディア情報専攻 カリキュラムツリー

必修科目

選択必修科目

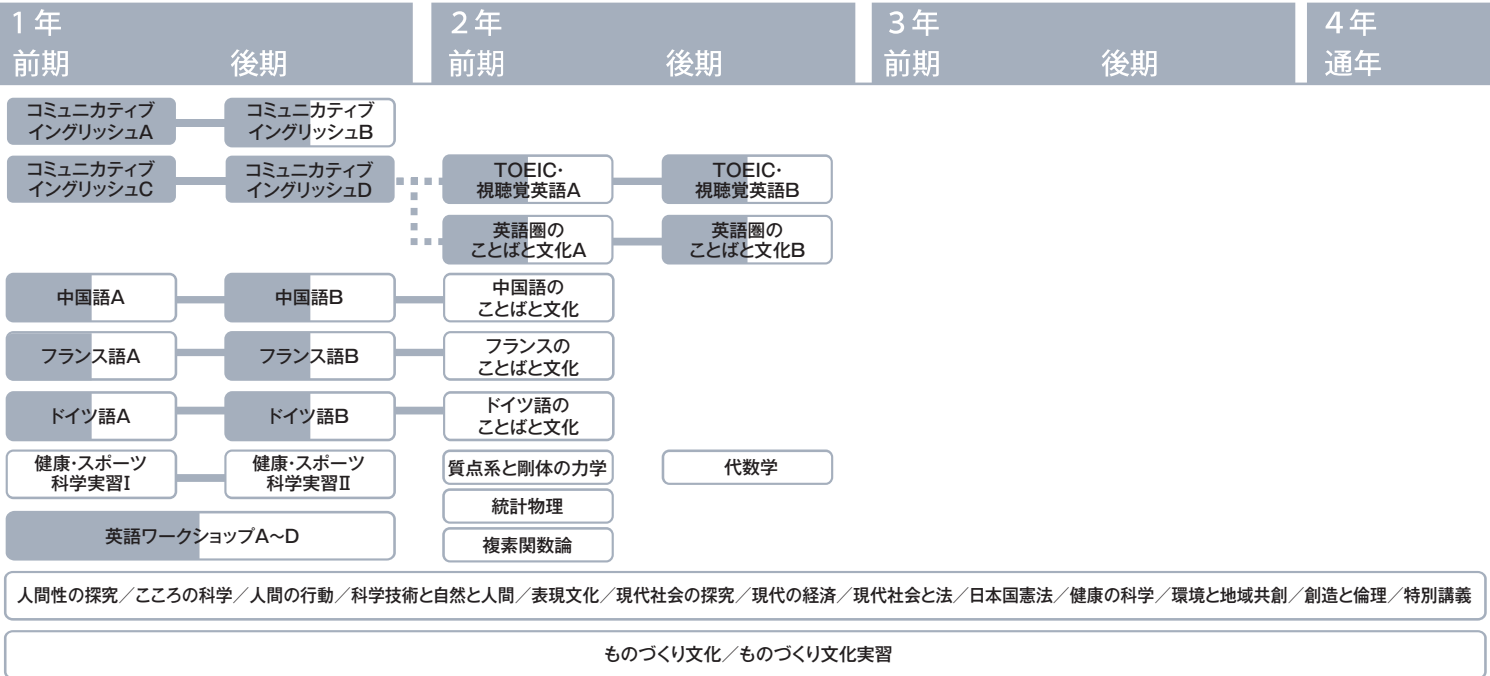
選択科目

—— 連結・前提科目
..... 連携・関連科目

学習到達目標

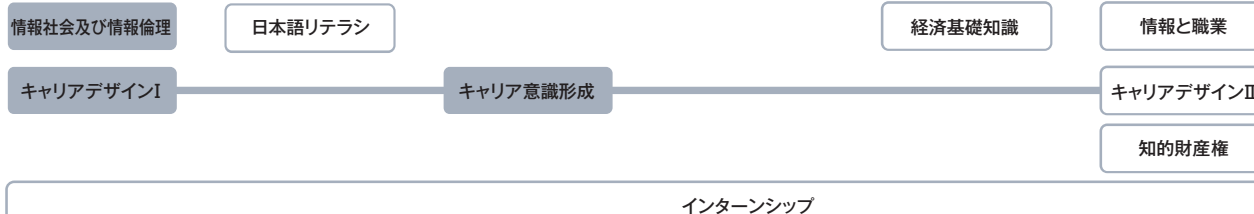
人間性を培う幅広い知識と素養の育成

人間・社会・言語に関する知識を深め、それらの知識（の関連づけ）と論理的な思考によって、日常のさまざまな現象を明らかにする力を養う。
言語およびコミュニケーション活動に関心を持ち、正確な言語理解と適切な表現のできる国際人を目指す。
多様な領域の講義を通して、よき市民としての広い視野と素養を身につける。



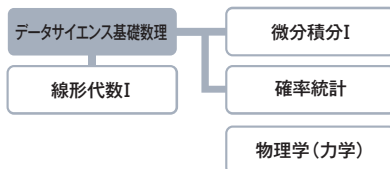
人間性の教育・専門性の教育の統合（キャリア教育）

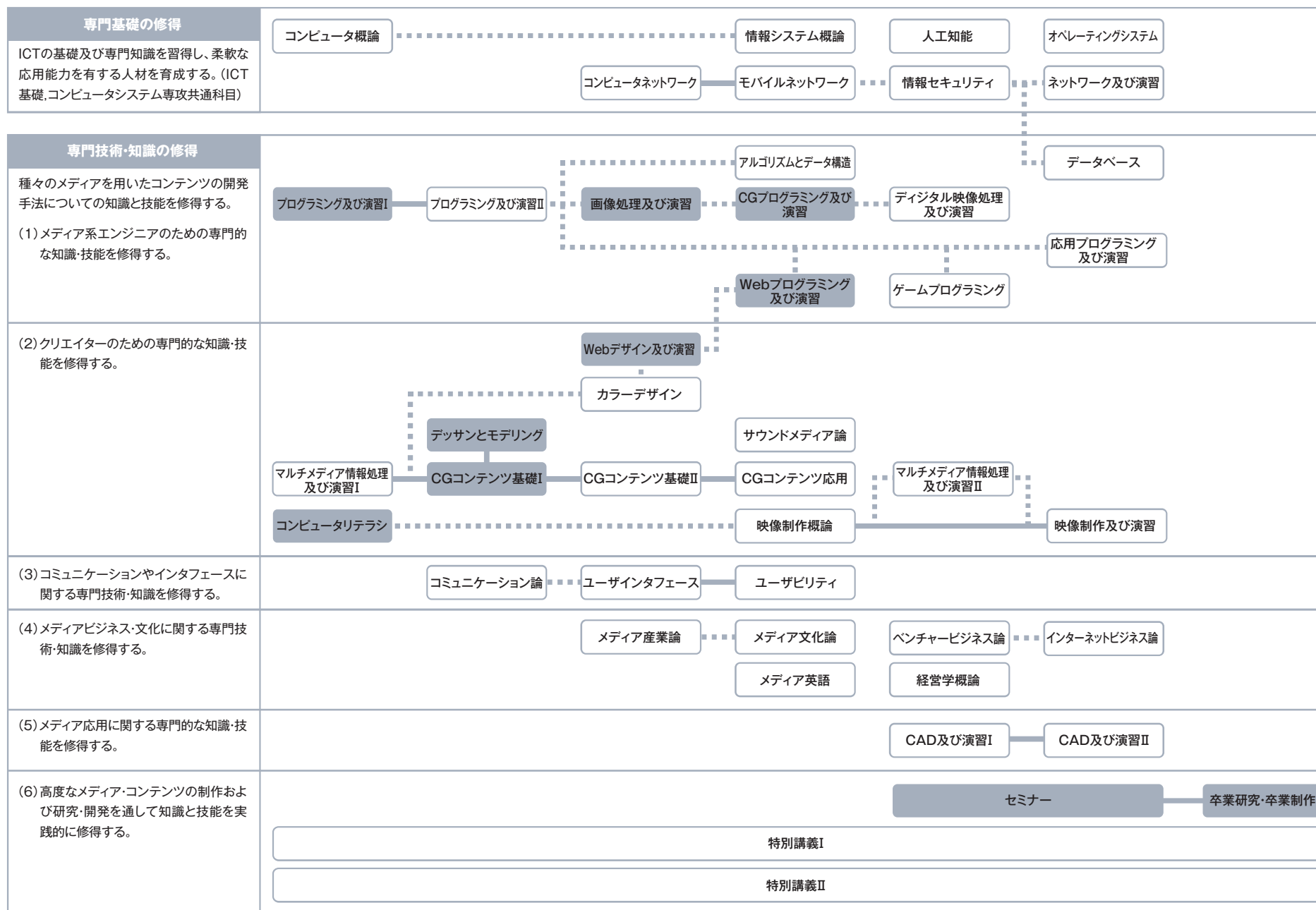
社会的・職業的に自立した学生を育成する。



基礎学力・知識の修得

・各専門分野を学ぶために必要な自然科学の知識を習得し、科学的な思考を身に付ける。
・情報科学分野に共通する基礎力と社会人として必要な人間的能力を養う。





メディア情報専攻教育課程表

科目コード	授 業 科 目	単位数		毎週授業時間数（コマ数）								GPA算出対象	副専攻	備 考	
		必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
専門 教育 科目	X1017	情報社会及び情報倫理	2		1								○		
	X1018	キャリアデザインⅠ	2		1								○		
	X1019	キャリア意識形成	2				1						○		
	X2066	キャリアデザインⅡ		2					1				○		
	X2067	経済基礎知識		2					1				○		
	X2068	知的財産権		2						1			○		
	X2069	情報と職業		2						1			○		
	X2070	インターンシップ		2	※ 1										
	X1016	データサイエンス基礎数理	2		1								○		
	X2002	微分積分Ⅰ		2	1								○		
	X2003	線形代数Ⅰ		2	1								○		
	X2004	確率統計		2		1							○		
	X2058	物理学（力学）		2		1							○		
	X2056	コンピュータ概論		2	1								○		
	X2032	人工知能		2					1				○		
	X2049	オペレーティングシステム		2						1			○		
	X2060	データベース		2						1			○		
	X2031	情報システム概論		2				1					○		
	X2026	CAD及び演習Ⅰ		3					2				○		
	X2027	CAD及び演習Ⅱ		2						2			○		
	X1014	CGプログラミング及び演習	3					2					○		
	X1001	コンピュータリテラシ	2		1								○		
	X1003	プログラミング及び演習Ⅰ	3		2								○		
	X2011	プログラミング及び演習Ⅱ		3		2							○		
	X2048	アルゴリズムとデータ構造		2				1					○		
	X2055	コンピュータネットワーク		2				1					○		
	X2030	モバイルネットワーク		2				1					○		
	X2028	ネットワーク及び演習		3						2			○		
	X2050	情報セキュリティ		2					1				○		
	X1004	Webプログラミング及び演習	3						2				○		
	X1013	画像処理及び演習	3					2					○		
	X2052	デジタル映像処理及び演習		3						2			○		
	X2046	応用プログラミング及び演習		3							2		○		
	X2023	ゲームプログラミング		2						1			○		
	X2054	マルチメディア情報処理及び演習Ⅰ		3	2								○		
	X2045	マルチメディア情報処理及び演習Ⅱ		3						2			○		
	X1012	CGコンテンツ基礎Ⅰ	3			2							○		
	X2042	CGコンテンツ基礎Ⅱ		3				2					○		
	X2043	CGコンテンツ応用		3					2				○		
	X2061	サウンドメディア論		2					1				○		
	X1005	デッサンとモデリング	2			2							○		
X1006	Webデザイン及び演習	3					2					○			
X2044	映像制作概論		2					1				○			
X2059	映像制作及び演習		3							2		○			
X2020	カラーデザイン		2				1					○			
X2019	コミュニケーション論		2		1							○			
X2021	ユーザインタフェース		2				1					○			
X2022	ユーザビリティ		2					1				○			
X2025	メディア産業論		2				1					○			
X2024	メディア文化論		2				1					○			
X2033	経営学概論		2						1			○			
X2034	インターネットビジネス論		2							1		○			
X2057	メディア英語		1					1				○			
X2035	ベンチャービジネス論		2						1			○			
X1011	セミナー	2							1						
X2036	特別講義Ⅰ		2	※ 1										年度によって開講しない場合がある	
X2037	特別講義Ⅱ		2	※ 1										年度によって開講しない場合がある	
X3003	卒業研究		4								※ 1				
X3004	卒業制作		4								※ 1				
X2039	高大連携特別講義A		2												卒業要件単位数にのみ加算
X2040	高大連携特別講義B		2												卒業要件単位数にのみ加算
X2041	高大連携特別講義C		1												卒業要件単位数にのみ加算

専門
教育
科目

KX

メディア
情報
専攻

	科目コード	授 業 科 目	単位数		毎週授業時間数（コマ数）								G P A 算 出 対 象	副 専 攻	備 考	
			必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次					
					前	後	前	後	前	後	前	後				
総合 教育 科目	G1829	コミュニケーション英語A	1		1									○		
	G1830	コミュニケーション英語C	1		1									○		
	G1831	コミュニケーション英語D	1			1								○		
	G3834	コミュニケーション英語B	1			1								○		
	G3832	TOEIC・視聴覚英語A	1				1							○		
	G3833	TOEIC・視聴覚英語B	1					1						○		
	G3835	英語ワークショップA:スピーキング&プレゼンテーション	1		1									○		
	G3836	英語ワークショップB:上級リーディング	1		1									○		
	G3837	英語ワークショップC:ビジネスコミュニケーション&TOEIC演習	1		1									○		
	G3838	英語ワークショップD:海外留学英語	1		1									○		
	G3845	英語圏のことばと文化A	2				1							○	○	
	G3846	英語圏のことばと文化B	2				1							○	○	
	G3843	中国語A	1		1									○		
	G3844	中国語B	1			1								○		
	G3841	フランス語A	1		1									○		
	G3842	フランス語B	1			1								○		
	G3839	ドイツ語A	1		1									○		
	G3840	ドイツ語B	1			1								○		
	G2834	複素関数論		2				1						○	○	
	G2835	代数学		2					1					○	○	
	G2836	統計物理		2				1						○	○	
	G2837	質点系と剛体の力学		2				1						○	○	
	G2036	人間性の探究		2										○	○	
	G2001	こころの科学		2										○	○	
	G2026	人間の行動		2										○	○	
	G2064	科学技術と自然と人間		2										○	○	
	G2065	表現文化		2										○	○	
	G2014	現代社会の探究		2										○		
	G2013	現代の経済		2										○	○	
	G2066	現代社会と法		2										○		
	G2048	日本国憲法		2										○		
	G2010	健康の科学		2										○	○	
	G2067	ものづくり文化		2										○	○	
	G2821	環境と地域共創		2										○	○	
	G2069	創造と倫理		2										○	○	
	G2841	日本語リテラシ		2		1								○		開講学期変更の可能性あり
G2822	ものづくり文化実習		1		1								○	○	開講学期変更の可能性あり	
G2008	健康・スポーツ科学実習Ⅰ		1		1								○	○		
G2009	健康・スポーツ科学実習Ⅱ		1			1							○	○		
G2838	中国のことばと文化		2				1						○	○		
G2839	フランスのことばと文化		2				1						○	○		
G2840	ドイツのことばと文化		2				1						○	○		
G2070	特別講義		2												年度によって開講しない場合がある	
G2823	日本語コミュニケーション		2												卒業・進級要件単位には含めない	
G2824	海外研修英語		1							※ 1				○		
G2833	海外留学英語		4											○		

- 履修期は基本的な開講学年学期とし変更する場合がある。
- ※ 1 印の授業科目は毎週の授業時間数を定めない。
- 副専攻の詳細は126ページ。

■ 注意

1. 卒業および進級要件に含めない科目

- ・ 高大連携特別講義は進級判定時の単位数には含めず、卒業要件単位数にのみ加算します。
- ・ 日本語コミュニケーションで修得した単位は、卒業・進級要件に含めません。

2. 履修上の注意

(1) メディア情報専攻では、画像や音声などのマルチメディア情報処理技術を中心に、情報をコンテンツにする技術を総合的に学びます。以下の事項に注意して、多くの科目を積極的に履修して下さい。

- 1) 各科目は、科目系統図にあるように、互いに密接に関連しています。高学年で開講される科目を理解するためには、その前提となる科目を低学年で履修して修得しておく必要があります。カリキュラムツリーを十分に理解して、各学年に割り当てられた科目を大切に履修して下さい。
- 2) 1年次のキャリアデザインIは、大学生活を充実したものにするために、また、将来社会で活躍するために、これから大学で何を学ぶべきか、何をすべきかを考えるための授業です。この授業に積極的に参加して皆さんの一人一人の将来計画を作成し、その夢に向かって毎日の大学生活を有意義に送って下さい。
- 3) 卒業するためには、必修科目の全てと選択必修科目の一つを必ず修得する必要があります。これらの科目が不合格になると再履修する必要がありますが、在籍学年の科目と再履修科目の開講時間が重なることがあり、再履修は通常容易ではありません。必修科目、選択必修科目は割り当てられた学年で必ず合格するようにしましょう。また、履修科目をしっかり身につけるため、GPAは2.0以上を目指しましょう。
- 4) 演習科目は皆さんの将来の仕事と直接関係しており、仕事をするための実践力を養います。どの演習も宿題が多くて大変ですが、頑張ればその分力がつきます。演習科目はできるだけ多く、かつ、積極的に履修して下さい。
- 5) メディア英語が用意されています。メディアの世界では英語力が必要とされます。選択科目ですが、履修することを勧めます。
- 6) 卒業研究・卒業制作は大学教育の総仕上げです。卒業研究、卒業制作のいずれかを選び4単位を必修とします。教わるのではなく、自分で勉強して自分で問題を解決する力を養います。3年次のセミナーで準備を行い、4年次で本格的に取り組めます。卒業研究・卒業制作をうまく行えるように、3年次後期までに各科目をしっかり修得しておきましょう。

(2) 総合教育科目の履修については「総合教育科目履修の注意」を参照して下さい。

3. 他専攻・他学科・他学部・他大学履修の注意

自らの専門分野を超え、幅広く柔軟な視野と知識を修得するために、自分の専攻にない他専攻・他学科・他学部・他大学の科目を履修することができます。

なお、安易な履修申告など、この目的に合わない判断した場合は、履修を認めない場合があります。

また、他専攻・他学科・他学部・他大学の科目を修得した場合は、卒業および進級に必要な単位として以下の表のとおり認定されます。

履 修 科 目		卒業・進級に必要な単位 として認定される科目区分		卒業・進級に必要な単位 として認定される上限
所属学科 他専攻 開設科目	専門教育科目	専門教育科目(選択)の単位として認定		40単位まで
他学科 他学部 開設科目	専門教育科目	専門教育科目(選択)の単位として認定		16単位まで (うち他大学開設科目は 6単位まで)
単位互換制度による 他大学開設科目		科目区分は履修申告 後、審査して決定され ます。	専門教育科目(選択) の単位として認定	4単位まで
			総合教育科目(選択) の単位として認定	

■ 卒業進級要件

1. 上級年次への進級要件

以下の表に定める単位を修得したものは、上級年次へ進級することができます。

1年次から2年次

	専門教育科目	総合教育科目	計
必修科目	35単位以上		35単位以上
選択科目			

2年次から3年次

	専門教育科目	総合教育科目	計
必修科目	70単位以上		70単位以上
選択科目			

3年次から4年次

	専門教育科目	総合教育科目	計
必修科目	105単位以上		105単位以上
選択科目			

2. 卒業要件

以下の表に定める単位を修得したものは、卒業することができます。

	専門教育科目	総合教育科目	計
必修科目	36単位	8単位※	44単位
選択科目	64単位以上	16単位以上	80単位以上
計	100単位以上	24単位以上	124単位以上

※必修科目3単位と選択必修科目5単位の合計とする。ただし、このうち英語系科目を6単位以上修得していること。